

9月号

香春町協力隊だより



▲撮影した写真は「@onozvww_hvruki」で検索してください。

地域おこし協力隊の業務で、情報発信用の写真を撮る機会が多く、これまでも香春町の風景や協力隊が行ったイベントの様子など数多くの写真を撮ってきました。

最近では、協力隊の業務以外にも写真撮影の依頼が来るようになってます。

依頼の内容は、商品撮影や店内撮影、作家さんなどのモノづくりの様子を撮ったプロモーション撮影など、パンフレットやホームページ用の撮影です。他にも、家族写真の依頼もあります。

今後は、マルチエなどでの出張撮影も考えています。

今まで撮った写真はインスタグラムなど見ることができるので、ぜひみてください。



下高野1区 小野沢春輝 隊員

ナリワイづくり担当



柿下区 小玉篤美 隊員

半農半X担当



▲お手本とする糸島自然農塾の様子。

私が行っている農業スタイルは『自然農』と言う言葉や肥料を使わず、また草刈りもできるだけ行わない、自然の循環に任せてこちらは少しお手伝いをする形の農業です。

今年の4月から、柿下地区で以前より大きめの畑を借りて、規模を大きくしました。

自然農は、5年目から大きく畑の土が変わると言われているので、今年はその変化をほぼ期待していませんでした。でも、十分な実りを見せてくれることもあり、そこにいる生き物のつながりの力を感じて畑から学ぶことの大きさに日々感動しています。

最近では、こんな気持ちを持っていたいと感じているので、週末などに都会の人が来やすいオープンガーデンの日などを作ることを考えています。



▲抜き取った重箱のミツバチが元の群れに帰るのをしばらく待ちます。

昨年開始した二ホンミツバチの巣箱から採蜜を行いました！巣箱は重箱式で、内部の巣が大きくなる毎に重箱を下に追加していきます。巣が5段目に到達してしばらく経ち、ミツバチも元気に活動しているので、最上段の蜂蜜を初めてもらうことにしました。

二ホンミツバチは野生に生息しているのですが、農業での農薬や除草剤使用のために、その生息数が激減しています。蜂蜜の自給が目的ですが、花粉媒介生物としての期待と、個体数の減少に歯止めをかけ保護する一助になればと、地域の方に教わりながら二ホンミツバチの養蜂活動に取り組んでいます。



採銅所4区 三村信也 隊員

半農半X担当



柿下区 フクバ ヒロユキ 福羽弘之 隊員

移住と交流の場作り担当



▲登山道の途中にある沢でひと休みしながらの記念撮影。

毎月恒例の「低山登山部」に定期参加しています。低山登山部では香春町の山々で、野草や野鳥について観察しながら登っています。

元々山歩きが好きで、今まで登山はスポーツの一環として考えていましたが、違う視点の知識をつけることで山に登る新たな楽しみが増えたように思います。

また、顕昌質(岩石を構成する鉱物が肉眼や虫めがねで見分けられる大きさ)の火成岩が山中のいたる所に露出していて、地球の深い歴史に浸ることもできます。山のある景色が魅力の香春町、ぜひ皆さんも参加しませんか？



▲試しに作ってみたいイメージサンプルと、タイトルロゴ

ただいま協力隊では、地域コミュニティ冊子の制作を行っています！6月頃から、香春町の人のつながりコミュニティを発掘する活動を行なっていました。コミュニティの選定からヒヤリング、座談会や編集会議を経て、第一号の発行に向けて作業の大詰めを迎えています。

今回、私は冊子全体のデザインや編集を担当していますが、いざ形にすると迷うことばかり。切り取り、伝えることの重さを感じています。

冊子のタイトルは「ハダシノステージ」。香春町のコミュニティの飾らない素顔や、地に足がついた一人一人の活躍の舞台をイメージしています。どうぞお楽しみに！



採銅所4区 イチカワ ミズキ 市岡美幸 隊員

移住と交流の場作り担当



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115